

# 塩ビパイプ用アルミベントキャップ取扱説明書



## 使用上のご注意

- 製品を落としたり、ぶついたり、施工の際に無理な力を加えて変形させると、塗装がはがれたり、耐久性や性能の劣化の原因になります。梱包をあけた状態で製品の変形等がございましたら、お手数ですがすみやかにご連絡下さい。



## 取扱い上のご注意

- 防虫網付製品をご使用の場合は、網の清掃ができる所に取り付けて下さい。
- 網部にほこりなどが付着すると風量低下・異音発生の原因になりますので、網部のほこりなどは定期的に取り除いて下さい。
- 本体は強い防錆力がありますが、海岸近くなどの塩害の強い地域や塩素ガス・腐食性ガスの発生するところでは、錆が発生することがあります。
- 化学薬品を使用する場合には取り付けしないで下さい。また、本体には化学薬品（酸・シンナー等）がかからないように注意して下さい。
- 本製品は、塩ビパイプ（VU）専用になっておりますのでご注意下さい。



## 施工上のご注意

- 腐食の恐れがあります。排水通気には使用しないで下さい。
- 外壁とガラリ、外壁とパイプの隙間に必ずコーキング処理を行って下さい。
- コーキング剤は施工後ひび割れによる隙間を生じないように、酸化性のものを避け、柔軟性を保つものをご使用下さい。
- 給気の場合、建物環境、気象状況（風向・風速等）などが過酷な条件である時は、塩ビパイプ（VU）内に雨水が浸入する場合があります。浸入防止対策として、製品の選定を考慮し、塩ビパイプ（VU）の勾配（推奨勾配：1/30）、通気管長さ（2 m以上）、止水板取付、適切な給気量設計（流速を上げすぎないこと）など、状況に応じた施工方法を施して下さい。

## 施工要領

- 外壁を仕上げ、塩ビパイプ（VU）を外壁仕上り面で切り、しっかりと固定する。
- 本体差し込み部、塩ビパイプ（VU）に差し込む。  
《この時、パッキン（エンバタイト）が正しくセットされているか確認して下さい。右図》  
なお、潤滑剤か水等をつけるとスムーズに差し込めます。
- 外壁とガラリ、外壁とパイプの隙間にコーキング剤を充填する。

